

# 大和

TAIWA  
CAMPUS



### 本部棟

大学の機能の中心となる建物です。円形の外観と大きな階段を内部に持つ印象的な構造が特徴です。3階が看護学部、4階が事業構想学部のフロアです。



### 学生ラウンジ

3階と4階に設けられているスペースです。休憩スペースとして利用できるほか、無線LANも整備されているので自習スペースとしても活用できます。



### 講堂

定員数776名のホール。学内の式典や公開講座のほか、コンサートや文化系サークルの練習・発表の場として利用されています。



### グラウンド

サッカーや野球ができるグラウンドの他に、テニスコートも備え、サークルの主な活動の場となっています。学生のみならず、地域の方へも貸出しています。



### ナージング・ラボ

看護学部の技術演習で使用される施設です。実際の病室や自宅を想定した設備が用意されており、実用的な看護技術を習得することができます。



### コンピュータ・ラボ

コンピュータを備えた演習室です。授業時間以外でも自由に利用することができ、パソコンにはさまざまなソフトウェアが入っています。



### 図書館

本部棟2階にあり、蔵書数は約115,000冊になります。各学科での学習に必要な書籍、雑誌や新聞があります。授業自習資料の閲覧室もあり、夜間も利用できます。



### 3F 国際交流・留学生センター

国際交流の推進や留学生へのサポート、外国語教育支援、留学相談などを行っています。



### カフェテリア

1階席のほかに、屋外のテラスや2階席をふくめ260席あります。昼休みには、出来立ての食事を手頃な値段で食べることができます。

キャンパスマップ

## 大和キャンパス周辺施設



① 宮城県図書館(約500m)



② タビオ(約1km)



③ 仙台泉プレミアム・アーク(約1km)



④ 仙台市泉図書館(約6km)



⑤ セルバ(約6km)



⑥ アリオ(約6km)

# 太白

TAIHAKU CAMPUS



## 食品加工棟

食材加工を実践する施設。主な食品加工品の製造機種類がそろっており、食味調整室や調理室も揃っています。実習・講習のほか、サークル活動にも使用されています。



## 講義棟

視聴覚機材を備えた講義室をはじめ、私図書、パソコンを完備したCAD室やコンピュータ・ラボがあります。



## 図書館

南研究棟1-2階にあり、席数は92席。蔵書は約64,000冊で、学部に関わる専門的な書籍が取りまわっています。映像資料を視聴することもできます。



## カフェテリア

客席数は240席。一部が2階になっていて、明るくゆとりとしたスペースが特徴です。ゆっくりと昼食を食べたり、休憩することができます。



## ガラス温室

ブルーベンチとイチゴ高設置液栽培システムを装備し、検査迅速制御をLAN経由で行う機能を備えた温室です。

## 坪沼農場 TSUBONUMA FARM

### [食産業学部 附属農場]

太白キャンパスから8kmほど離れた太白区坪沼に約31.4haの附属農場があります。豊かな自然に囲まれ、実習に最適なロケーションです。



## 農場の牛

乳牛・肉牛が飼育されています。搾乳や人工授精など、多くの実習を行っています。



## 水田

水田は附属農場から少し離れた場所にあり、主に「ひとめぼれ」を栽培しています。



## 畑地・果樹園

四季折々の野菜・果物が栽培され、大学生協で販売されています。

## 太白キャンパス周辺施設



① イオンスーパーセンター 鶴取店 (約2km)



② ヨクヘンマツ山田鶴取店 (約2km)



③ 三神堂公園 (約4km)



④ ミッションパーク ライオン (約5km)



⑤ ザ・モール 仙台東町店 (約5.5km)



⑥ 仙台市太白図書館 (約6.5km)

さらに専門的な学びを深めるための進路選択

# 宮城大学大学院

Miyagi University  
Graduate School



# 看護学研究科

卓越した看護の知識と実践力をそなえ、  
教育的、指導的役割を担う高度に専門的な看護職を養成する専門課程

## 看護学研究科の目的

地域の保健医療において必要とされる高度かつ専門的な看護について、教育・研究と社会活動を行うことを目的としています。

## 看護学研究科の教育目標(人材養成目標)

### ■博士前期課程

地域現場の課題に対応できる知識・技術及び研究能力をもち、高度な実践能力を備える専門的な看護職を養成します。

### ■博士後期課程

高度に専門的な知識と実践力ならびに自立的な研究能力を持つ高度看護実践指導者又は看護教育研究者を養成します。

## 修了後の職種

- 専門領域で高度な実践能力を持つ看護職
- 高度な管理能力及び指導能力を持つ看護職
- 看護基礎教育や卒後教育に携わる看護学教育者・研究者

## 教育方法の特徴

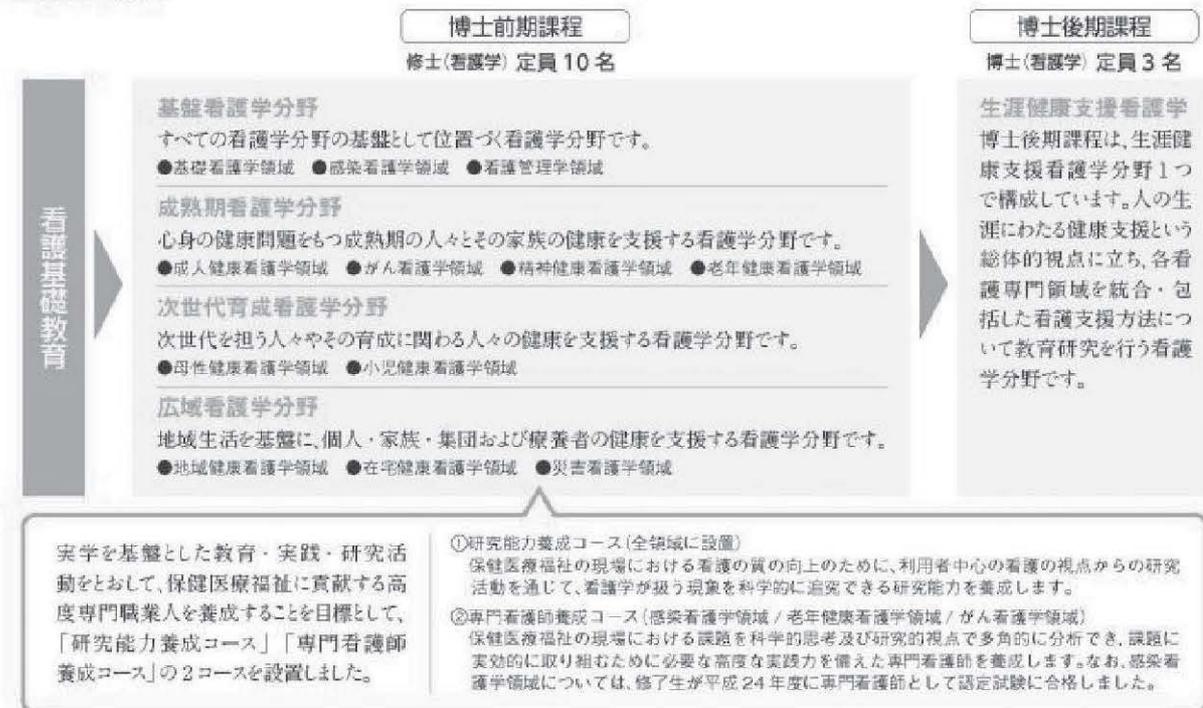
### ■博士前期課程

- ① 看護現場の実践的課題に応じる理論・方策・技術等の開発を行います。
- ② 現任看護職と学部進学者との相互作用効果を生み出す教育を行います。
- ③ 専門分野を基軸とした責任ある複数指導体制により研究指導を行います。
- ④ 関係資格(専門看護師)の取得を支援します。

### ■博士後期課程

- ① 看護の対象となる人々のライフステージや健康レベル、健康障害の種類・程度、生活の状況、生活拠点等の特性を包括的・横断的な視点でとらえ、統合的・縦断的な視点から生涯にわたる人々の健康と生活の質の向上を目指した看護支援方法の開発・研究を行います。
- ② 専門分野を基軸とした責任ある個別指導体制、小集団指導体制、大集団指導体制により研究指導を行います。

## 研究科の構成



## 社会人への配慮・教育状況等

入学者のおよそ9割が社会人学生であり、徐々にその割合も増加していることから、平成21年度より、学則において長期履修制度や教育方法の特例を新たに規定するなど、修学環境整備に力を入れています。

## ■長期履修制度

職業を有し、かつ就業している方で、標準修業年限で修了することが困難である場合や、育児、介護等により標準修業年限で修了することが困難である場合等には、申請後、審査を経て、長期履修の制度を活用することができます。

## ■教育方法の特例

学生の職務状況に合わせて夜間や土曜日・日曜日、長期休業期間の開講や、必要に応じてコンピュータネットワークを利用した指導を行います。

# 入試ガイド

## 平成27年度入学者選抜試験概要

※各種募集要項でも合わせてご確認ください。

### 募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員										編入学	
			一般選抜			特別選抜					AO入試 (社会人)	一般	AO	
			前期日程	後期日程	合計	推薦入学	帰国子女	社会人	外国人留学生	地域推薦				
看護学部		90	40	10	50	36	若干名	—	4人以内	若干名	若干名	10	若干名	
	看護学科	90	40	10	50	36	若干名	—	4人以内	若干名	若干名	10	若干名	
事業構想学部		200	75	40	115	70	若干名	若干名	15人以内	若干名	—	—	—	
	事業計画学科	100	35	20	55	35	若干名	若干名	10人以内	若干名	—	—	—	
	デザイン情報学科	100	40	20	60	35	若干名	若干名	5人以内	若干名	—	—	—	
食産業学部		125	59	24	83	36	若干名	若干名	6人以内	若干名	—	若干名	—	
	ファームビジネス学科	42	20	8	28	12	若干名	若干名	2人以内	若干名	—	若干名	—	
	フードビジネス学科	52	25	10	35	15	若干名	若干名	2人以内	若干名	—	若干名	—	
	環境システム学科	31	14	6	20	9	若干名	若干名	2人以内	若干名	—	若干名	—	
	合計	415	174	74	248	142	若干名	若干名	25人以内	若干名	若干名	10+若干名	若干名	

※入学定員には編入学分を含みません

### 平成26年度入学者選抜結果

学部	学科	入学者数(合計) ※1	推薦入学					一般選抜 前期					一般選抜 後期							
			募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	実質競争倍率 ※2	入学者数(推薦)	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	実質競争倍率 ※2	入学者数(前期)	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	実質競争倍率 ※2	入学者数(後期)
看護学部		94	36	96	96	36	2.7	36	40	165	158	49	3.2	48	10	148	77	11	7.0	9
	看護学科	94	36	96	96	36	2.7	36	40	165	158	49	3.2	48	10	148	77	11	7.0	9
事業構想学部		208	70	114	114	77	1.5	77	75	272	268	94	2.9	94	40	350	198	41	4.8	33
	事業計画学科	105	35	51	51	38	1.3	38	35	129	125	47	2.7	47	20	182	102	20	5.1	18
	デザイン情報学科	103	35	63	63	39	1.6	39	40	143	143	47	3.0	47	20	168	96	21	4.6	15
食産業学部		134	36	72	72	36	2.0	36	59	256	238	73	3.3	67	24	517	246	32	7.7	28
	ファームビジネス学科	46	12	19	19	12	1.6	12	20	86	80	24	3.3	20	8	183	92	14	6.6	13
	フードビジネス学科	54	15	43	43	15	2.9	15	25	107	100	31	3.2	30	10	176	76	11	6.9	8
	環境システム学科	34	9	10	10	9	1.1	9	14	63	58	18	3.2	17	6	158	78	7	11.1	7
	合計	436	142	282	282	149	1.9	149	174	693	664	216	3.1	209	74	1,015	521	84	6.2	70

※1 入学者数(合計)には、社会人、外国人留学生が含まれています。 ※2 実質競争倍率=受験者数/合格者数

### 学生数

※平成26年4月1日現在

学部	学科	1年			2年			3年			4年			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
看護学部		10	84	94	8	90	98	3	106	109	8	101	109	29	381	410
	看護学科	10	84	94	8	90	98	3	106	109	8	101	109	29	381	410
事業構想学部		89	119	208	81	132	213	79	133	212	97	132	229	346	516	862
	事業計画学科	52	53	105	39	67	106	40	67	107	46	70	116	177	257	434
	デザイン情報学科	37	66	103	42	65	107	39	66	105	51	62	113	169	259	428
食産業学部		46	89	135	51	89	140	57	85	142	60	73	133	214	336	550
	ファームビジネス学科	11	36	47	16	30	46	23	23	46	16	29	45	66	118	184
	フードビジネス学科	15	39	54	16	41	57	14	45	59	22	34	56	67	159	226
	環境システム学科	20	14	34	19	18	37	20	17	37	22	10	32	81	59	140
	合計	145	292	437	140	311	451	139	324	463	165	306	471	589	1,233	1,822

## 平成 26 年度出身高校所在都道府県別入学者数

出身高校所在 都道府県名等	看護学科			事業計画学科			デザイン 情報学科			ファーム ビジネス学科			フード ビジネス学科			環境 システム学科			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
北海道	2	0	2	0	1	1	1	2	3	0	0	0	0	2	2	0	1	1	3	6	9
青森県	0	6	6	2	1	3	0	5	5	0	3	3	0	3	3	1	1	2	3	19	22
岩手県	0	3	3	3	3	6	1	10	11	0	6	6	1	1	2	1	0	1	6	23	29
宮城県	7	50	57	41	36	77	23	32	55	5	13	18	9	14	23	7	8	15	92	153	245
秋田県	1	10	11	1	1	2	3	3	6	1	1	2	0	2	2	1	0	1	7	17	24
山形県	0	1	1	1	5	6	1	6	7	1	1	2	2	5	7	3	0	3	8	18	26
福島県	0	6	6	2	2	4	3	4	7	1	4	5	0	4	4	4	1	5	10	21	31
東北小計	8	76	84	50	48	98	31	60	91	8	28	36	12	29	41	17	10	27	126	251	377
関東	0	1	1	1	1	2	1	2	3	1	1	2	1	3	4	1	2	3	5	10	15
中部	0	6	6	1	1	2	2	2	4	1	5	6	1	4	5	1	0	1	6	18	24
近畿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	2
中国・四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	9	9	0	2	2	2	0	2	2	1	3	0	3	3	2	1	3	6	16	22
合計	10	92	102	52	53	105	37	66	103	12	36	48	15	41	56	22	14	36	148	302	450

※ 編入学分を含みます

## 入学金・学費・奨学金

### 学費・入学時における学生諸経費(平成 26 年度実績)

入学金	県内出身者	282,000 円
	県外出身者	564,000 円
入学時 学 生 諸経費	看護学部	84,474 円(新入生) 55,474 円(編入生)
	事業構想学部	59,060 円
	食産業学部	57,560 円(新入生) 35,330 円(編入生)
	授業料	年額 535,800 円 (前期・後期、半額ずつ納付)
納付時期	前期	4月30日
	平成26年度は	5月31日
	後期	10月31日

### 授業料の減免・分割納付・納付猶予

**減 免** 一定基準以上の成績、及び経済的要件を満たす場合、申請により、全額又は半額免除される場合があります。

※平成 26 年度は、東日本大震災により被災した世帯の学生に対する授業料減免を実施しました。

**分割納付** 経済的理由で授業料の一括納付が困難な場合、申請により、分割納付を認める場合があります。

**納付猶予** 経済的理由で授業料を指定納期までに納付することが困難な場合、申請により、納付猶予を認める場合があります。

## 奨学金制度

### 独立行政法人日本学生支援機構奨学金

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し貸与されます。

種類	貸与月額 (平成 26 年度)
第一種(無利子償還)	自宅：30,000 円 / 45,000 円   自宅外：30,000 円 / 51,000 円
第二種(有利子償還)	30,000 円 / 50,000 円 / 80,000 円 / 100,000 円 / 120,000 円

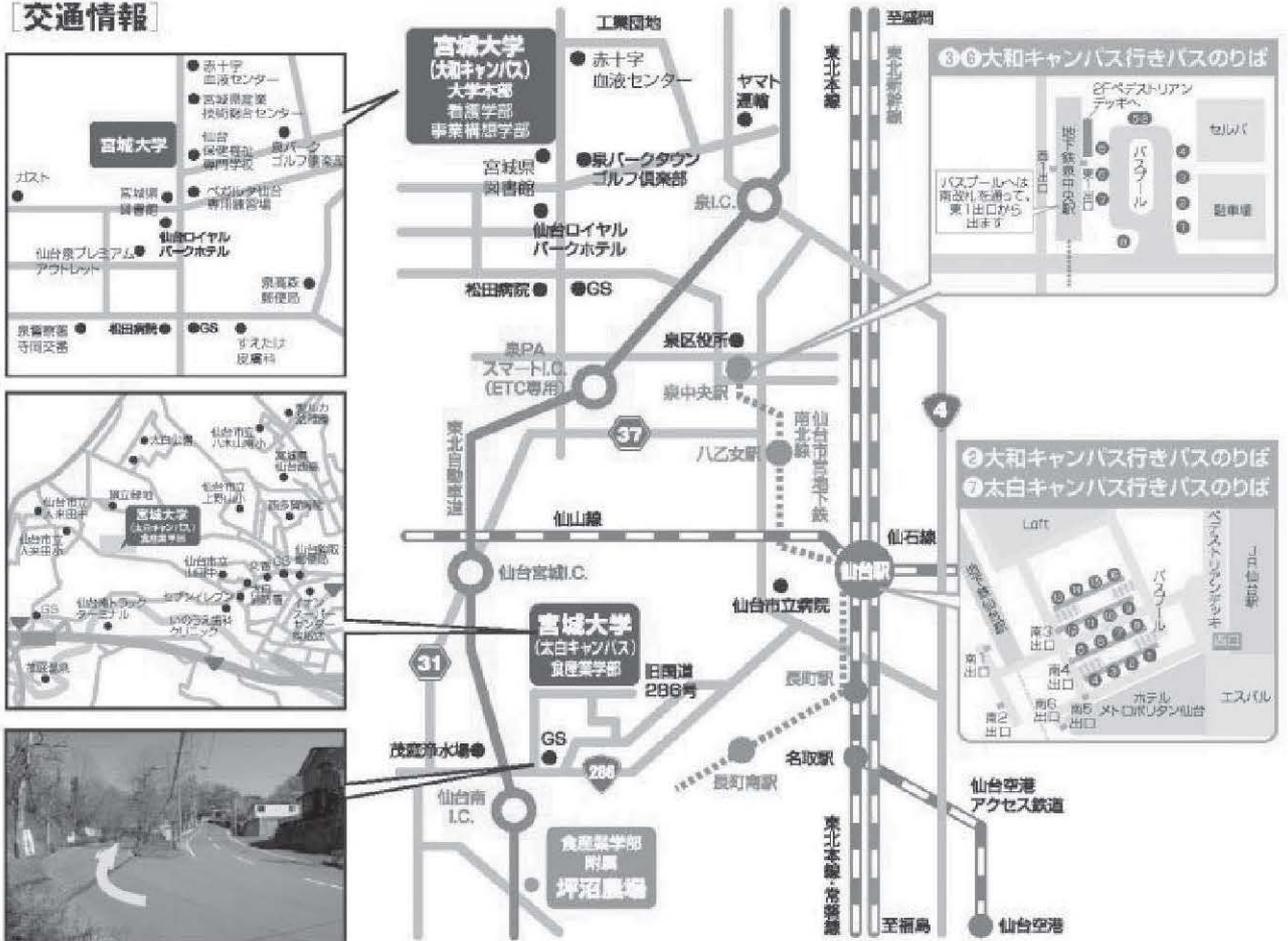
※貸与期間：採用年度から標準修業年まで。

※高校等での予約採用以外は、毎年 4 月に説明会を行い、奨学生を募集します。

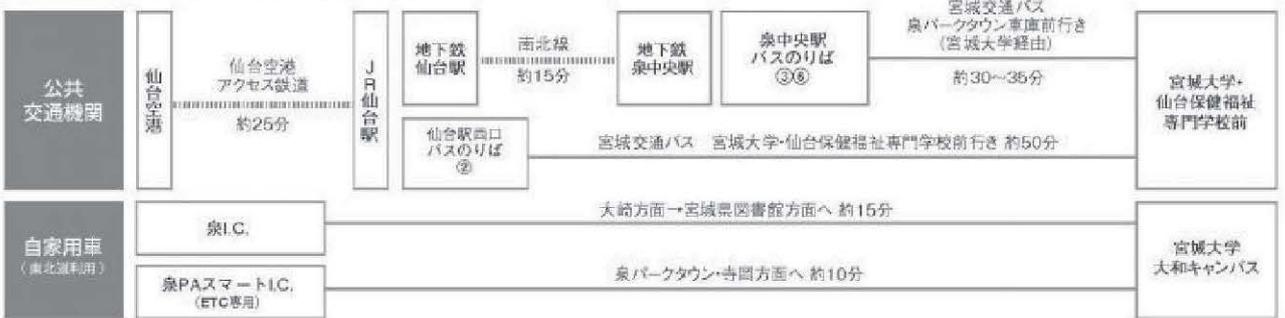
### その他の奨学金

各種団体等の奨学金は、毎年 4 月に学内掲示板等でお知らせします。

**交通情報**



**大和キャンパス** | 大学本部 | 看護学部 | 事業構想学部 | 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1  
 宮城大学事務部(大学全般) TEL022-377-8205 FAX022-377-8282 (入試担当) TEL022-377-8333 (大学見学) TEL022-377-8693  
 キャリア開発センター(就職関連) TEL022-377-8216



**太白キャンパス** | 食産業学部 | 〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号  
 宮城大学事務部(大学全般) TEL022-245-1076 FAX022-245-1534 (入試担当) TEL022-245-1051 (大学見学) TEL022-245-1058  
 キャリア開発センター(就職関連) TEL022-245-1175



平成24年度

# 決算報告書

第4期

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日

公立大学法人宮城大学

# 平成24年度 決算報告書

公立大学法人宮城大学  
(単位:円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	2,248,750,000	2,261,338,100	12,588,100	(注1)
自己収入	1,144,187,000	1,152,443,504	8,256,504	
授業料等収入	1,087,041,000	1,088,603,100	1,562,100	
雑収入	57,146,000	63,840,404	6,694,404	(注2)
受託研究等収入	238,216,000	270,222,859	32,006,859	(注3)
寄附金収入	15,514,000	51,474,526	35,960,526	(注4)
設備費補助金収入	0	2,003,400	2,003,400	(注5)
目的積立金等取崩	64,678,000	94,983,618	30,305,618	(注6)
計	3,711,345,000	3,832,466,007	121,121,007	
支出				
業務費	2,964,710,000	2,958,073,651	△ 6,636,349	
教育研究経費	813,660,000	834,317,660	20,657,660	(注7)
人件費	2,151,050,000	2,123,755,991	△ 27,294,009	
一般管理費	455,690,000	448,119,628	△ 7,570,372	
受託研究等経費	75,647,000	79,966,282	4,319,282	(注8)
寄附金事業費	19,450,000	36,488,402	17,038,402	(注9)
大規模修繕費	157,917,000	143,734,500	△ 14,182,500	
災害復旧・復興支援費	37,931,000	29,561,313	△ 8,369,687	(注10)
計	3,711,345,000	3,695,943,776	△ 15,401,224	
収入-支出	0	136,522,231	136,522,231	

## 予算と決算の差異について

- (注1) 東日本大震災に係る授業料等の減免に伴う財源補てんのための追加交付による増。
- (注2) 科学研究費補助金間接経費収入等の増による。
- (注3) 受託事業収入等の増による。
- (注4) 宮城大学奨学寄附金の増による。
- (注5) 災害復旧に係る補助金収入の皆増。
- (注6) 目的積立金取崩及び運営費交付金債務取崩の増による。
- (注7) 地域振興事業部の受託事業等の増による。
- (注8) 補助金事業等の増による。
- (注9) 宮城大学奨学寄附金事業の増による。
- (注10) 東日本大震災等に伴う緊急雇用対策事業の減による。

# 独立監査人の監査報告書

平成25年6月19日

公立大学法人宮城大学

理事長 西 垣 克 殿

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

品田和之



指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

今江光彦



## <財務諸表監査>

当監査法人は、地方独立行政法人法(以下「法」という。)第35条の規定に基づき、公立大学法人宮城大学の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第4期事業年度の利益の処分に関する書類(案)を除く財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書について監査を行った。

## 財務諸表に対する公立大学法人の長の責任

公立大学法人の長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる地方独立行政法人の会計の基準に準拠して財務諸表(利益の処分に関する書類(案)を除く。以下同じ。)を作成し適正に表示することにある。これには、不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽の表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために公立大学法人の長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 会計監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる地方独立行政法人の監査の基準に準拠して監査を行った。この監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。監査は、公立大学法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為が財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす要因となる場合があることに十分留意して計画される。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正及び誤謬並びに違法行為による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、公立大学法人の長が採用した会計方針及びその適用方法並びに公立大学法人の長によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。この基礎には、当監査法人が監査を実施した範囲においては、財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす公立大学法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められなかったとの事実を含んでいる。なお、当監査法人が実施した監査は、財務諸表の重要な虚偽の表示の要因とならない公立大学法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の有無について意見を述べるものではない。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる地方独立行政法人の会計の基準に準拠して、公立大学法人宮城大学の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### <法が要求する利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書に対する意見>

当監査法人は、法第35条の規定に基づき、公立大学法人宮城大学の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第4期事業年度の利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書について監査を行った。

#### 利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書に対する公立大学法人の長の責任

公立大学法人の長の責任は、法令に適合した利益の処分に関する書類（案）を作成すること及び予算の区分に従って決算の状況を正しく示す決算報告書を作成することにある。

#### 会計監査人の責任

当監査法人の責任は、利益の処分に関する書類（案）が法令に適合して作成されているか及び決算報告書が予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているかについて、独立の立場から意見を表明することにある。

#### 法が要求する利益の処分に関する書類（案）及び決算報告書に対する監査意見

当監査法人の監査意見は次のとおりである。

- (1) 利益の処分に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。
- (2) 決算報告書は、公立大学法人の長による予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認める。

#### <事業報告書に対する報告>

当監査法人は、法第35条の規定に基づき、公立大学法人宮城大学の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第4期事業年度の事業報告書（会計に関する部分に限る。）について監査を行った。なお、事業報告書について監査の対象とした会計に関する部分は、事業報告書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。

#### 事業報告書に対する報告

当監査法人は、事業報告書（会計に関する部分に限る。）が公立大学法人宮城大学の財政状態及び運営状況を正しく示しているものと認める。

#### 利害関係

公立大学法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 監査報告書

平成25年6月20日

公立大学法人宮城大学

理事長 西垣 克 殿

公立大学法人宮城大学

監事 成田 由加 

監事 庄子 正昭 

私ども監事は、地方独立行政法人法第13条第4項の規定に基づき、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第4期事業年度における業務の執行を監査いたしました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法の概要

私ども監事は、理事会に出席するとともに、理事長等から業務運営の報告と業務処理の状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧しました。また、会計監査人から、監査の方法の概要について報告及び説明を受け、貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書・利益の処分に関する書類(案)・行政サービス実施コスト計算書・注記事項・附属明細書・事業報告書及び決算報告書の正確性について検討を加えました。

## 2 監査の結果

- (1) 会計監査人の監査の方法及び結果は、相当であると認める。
- (2) 財務諸表は、財政状態・運営状況、キャッシュフローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に表示していると認める。
- (3) 利益の処分に関する書類(案)は、法令に適合していると認める。
- (4) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく表示しており、指摘すべき事項は認められない。
- (5) 事業報告書は、業務運営の状況を正しく示していると認める。
- (6) 決算報告書は、予算の区分に従って決算の状況を正しく示していると認める。
- (7) 役員の業務執行に関しては、不正の行為又は法令・定款に違反する重大な事実は認められない。

以上

公立大学法人宮城大学 平成25年度当初予算

表1 平成25年度当初予算案(収入)

(単位:千円)

款	項	目	H25当初予算案 A	H24当初予算額 B	対前年比 A-B	備考
01 經常収益	01 運営費交付金	01 運営費交付金(経常経費)	2,308,794	1,998,743	310,051	【目の内容変更(退職金を統合し、震災減免分の目を新設)】 退職者の増及び派遣職員増による
		03 運営費交付金(大規模修繕費)	74,000	157,536	△ 83,536	坪沼農場管理棟改修工事
		04 運営費交付金(震災減免)	101,000	92,471	8,529	【目の新設(01(経常経費)のうち震災減免分を移設)】 授業料減免
		運営費交付金 計	2,483,794	2,248,750	235,044	
	02 授業料収入	01 学部・研究科	860,673	867,643	△ 6,970	(減) 授業料減免(震災枠)
	03 入学金収入	01 学部・研究科	185,443	184,710	733	
	04 検定料収入	01 学部・研究科	34,001	33,728	273	
	05 受託研究等収入	01 受託研究収入	62,000	57,500	4,500	中期計画と同額 (直接経費55,800、間接経費6,200)
		02 共同研究収入	0	0	0	
		受託研究等収入 計	62,000	57,500	4,500	
	06 受託事業等収入	01 認定看護師スクール事業収入	24,202	20,082	4,120	宮城県看護協会からの受託事業収入
		02 大学入試センター試験事業収入	4,211	3,815	396	大学入試センターからの受託事業収入
		03 地域振興事業収入	88,000	71,888	16,112	地域振興事業部の受託事業収入
		04 その他の受託事業収入	22,844	35,931	△ 13,087	県緊急雇用対策事業
		受託事業等収入 計	139,257	131,716	7,541	
	07 寄附金収入	01 宮城大学学習奨励基金	0	90	△ 90	(減) 平成24年度以降の入学生からは徴収していない
		02 宮城大学奨学金寄附金	15,000	15,000	0	中期計画と同額 (直接経費14,250、間接経費750)
		03 地域振興寄附金	0	0	0	
		04 兼業寄附金収入	0	424	△ 424	(減) 平成23年度末で廃止しており、平成24年度は前年度の残額を計上
		06 その他寄附金	23,000	0	23,000	
		うち 南三陸復興ステーションプロジェクト (地域振興事業部)	23,000	0	23,000	経済同友会からの寄附金
		寄附金収入 計	38,000	15,514	22,486	
	08 補助金等収益	うち 大学間連携共同教育推進事業	33,478	0	33,478	文部科学省国庫補助金(兵庫県立大学との連携事業)
		うち 南三陸町コミュニティ復興支援プロジェクト (地域振興事業部)	40,000	49,000	△ 9,000	文部科学省国庫補助金
		09 財務収入	0	0	0	
	10 雑収入	01 各種証明料収入	228	231	△ 3	
		02 科学研究費補助金間接経費収入	23,884	20,423	3,461	中期計画と同額
		03 教員宿舍賃貸収入	16,496	15,564	932	
		04 その他財産貸付料収入	3,394	3,026	368	
05 生産物売払収益		7,002	6,709	293	食産業学部農場実習運営経費に充当	
06 その他雑益		11,087	11,173	△ 86		
08 兼業納付金収入		0	20	△ 20	(減) 平成23年度末で廃止しており、平成24年度は前年度の残額を計上	
雑収入 計		62,091	57,146	4,945		
11 講習料収入	01 教員免許状更新講習	1,260	960	300	講習料収入【@6千円×210人】	
02 臨時利益	01 固定資産売却収入	0	0	0		
03 借入金収入		0	0	0		
04 設備費補助金収入		0	0	0		
05 地域振興寄附金基金取崩		3,646	9,700	△ 6,054	地域振興事業部事業に充当	
06 宮城大学学習奨励基金取崩		6,200	5,110	1,090	「宮城大学学習奨励基金」奨励事業に充当	
07 目的積立金取崩		43,551	28,719	14,832	グローバル人材育成プロジェクト事業 9,000千円、施設・環境整備費 19,300千円、企画・広報費(HPリニューアル) 7,102千円、大規模修繕費のうち法人負担分 8,149千円	
08 運営費交付金債務取崩		10,312	21,149	△ 10,837	平成24年度末現在 債務取崩残額 2,042千円 平成24年度交付分 執行残見込額 8,270千円	
09 震災復興基金取崩		2,693	0	2,693	平成24年度末現在 未執行見込額 2,692,554円	
合計		4,006,399	3,711,345	295,054		

表2 平成25年度当初予算案(支出)

款	項	目	細目	細々目	部門予算 責任者	H25当初予算案 A	H24当初予算額 B	対前年比 A-B	備考			
01	業務費	01	01	11看護学部教育費	看護学部長	14,093	14,513	△ 420				
				12看護学部実験実習費		20,294	20,205	89	(増)一部実習病院の委託料値上げ 他			
				看護学部計		34,387	34,718	△ 331				
				21事業構想学部教育費	事業構想学部長	19,552	19,736	△ 184				
				22事業構想学部実験実習費		3,198	3,230	△ 32				
				事業構想学部計		22,750	22,966	△ 216				
				31食産業学部教育費	食産業学部長	16,280	16,445	△ 165				
				32食産業学部実験実習費		21,156	21,411	△ 255				
				33食産業学部農場実習運営経費		7,002	6,709	293	財源として生産物売払収益を全額充当			
				食産業学部計		44,438	44,565	△ 127				
			学部経費 3学部計		101,575	102,249	△ 674					
			02	02	11看護学研究科教育費	看護学研究科長	3,235	2,472	763	学生数等から算出 (新規)「がん看護」及び「基礎看護」分野の新設		
					21事業構想学研究科教育費	事業構想学研究科長	3,879	3,928	△ 49	学生数等から算出		
					31食産業学研究科教育費	食産業学研究科長	2,178	5,354	△ 3,176	学生数等から算出 (減)博士課程設置準備費		
				研究科経費 3研究科計		9,292	11,754	△ 2,462				
				03	01	01共通教育経費・全学教務費	副学長(教育担当)	10,372	8,293	2,079	(新規)個別指導塾 (移管)英語スピーチコンテスト等(国際交流・留学生センター経費から移管)	
						03入学試験費		32,732	33,495	△ 763		
					04教員研修・授業評価費・自己評価	5,291	1,017	4,274	(新規)外部認証に係る経費			
			05学生指導・厚生費等学生生活関係		学生部長	20,432	21,322	△ 890	(新規)IDカード購入経費、学生生活実態調査実施経費、健康支援センターパンフレット作成経費、就職がたブック購入経費			
			全学学務費計		68,827	64,127	4,700					
			教育経費計		179,694	178,130	1,564					
			02	02	01	01一般研究費	教育研究担当理事	64,100	64,650	△ 550		
						02海外研究費		4,500	4,500	0	平成24年度当初予算と同額	
						03指定研究費		12,000	12,000	0	平成24年度当初予算と同額	
						03指定研究費(震災復興特別研究)		7,000	7,000	0	平成24年度当初予算と同額	
						教員研究費計		87,600	88,150	△ 550		
						04国際学会等派遣旅費		教育研究担当理事	6,600	6,600	0	平成24年度当初予算と同額
					02共通研究経費	02共通研究費	3,835	4,191	△ 356	(減)通信運搬費		
			研究経費計		98,035	98,941	△ 906					
			03	03	01	01総合情報センター経費	01図書館管理部門経費	総合情報センター長	47,149	47,623	△ 474	
						02情報管理部門経費		326,032	344,517	△ 18,485	平成25年9月に情報システム更新予定	
					02	02国際交流・留学生センター経費	01国際交流・留学生センター経費	国際交流・留学生センター長	12,050	3,600	8,450	(増)グローバル人材育成プロジェクト事業、国際シンポジウム等開催費 (移管)英語スピーチコンテスト(共通教育経費・全学教務費に移管)
					03	03地域連携センター経費	01地域連携センター経費	地域連携センター長	8,144	8,358	△ 214	
					04	04地域振興事業部(外数)		154,646	130,588	24,058	(増)受託事業増に伴う備品購入費 他	
					05	05教員免許状更新講習事業費	副学長(教育担当)	1,260	960	300	(増)受講者増に伴う資料作成等経費	
					06	06大学連携事業費		932	943	△ 11		
			教育研究支援経費計		550,213	536,589	13,624					
			04	04	01受託研究費(直接経費)	教育研究担当理事	55,800	51,750	4,050	中期計画と同額		
					02共同研究費(直接経費)		0	0	0			
			受託研究費(直接経費)		55,800	51,750	4,050					
			05	01	01認定看護師スクール事業費	認定看護師スクール長	24,202	20,082	4,120	官城県看護協会からの受託事業		
					02大学入試センター試験実施経費	事務部長	4,211	3,815	396	大学入試センターからの受託事業		
			受託事業費計		28,413	23,897	4,516					
			06	01	01補助金事業		33,478	0	33,478			
					大学間連携共同教育推進事業	副学長(教育担当)	33,478	0	33,478	(新規)文部科学省国庫補助金(兵庫県立大学と連携) H24は補正予算で対応		
補助金事業費計		33,478	0	33,478								

表2 平成25年度当初予算案(支出)

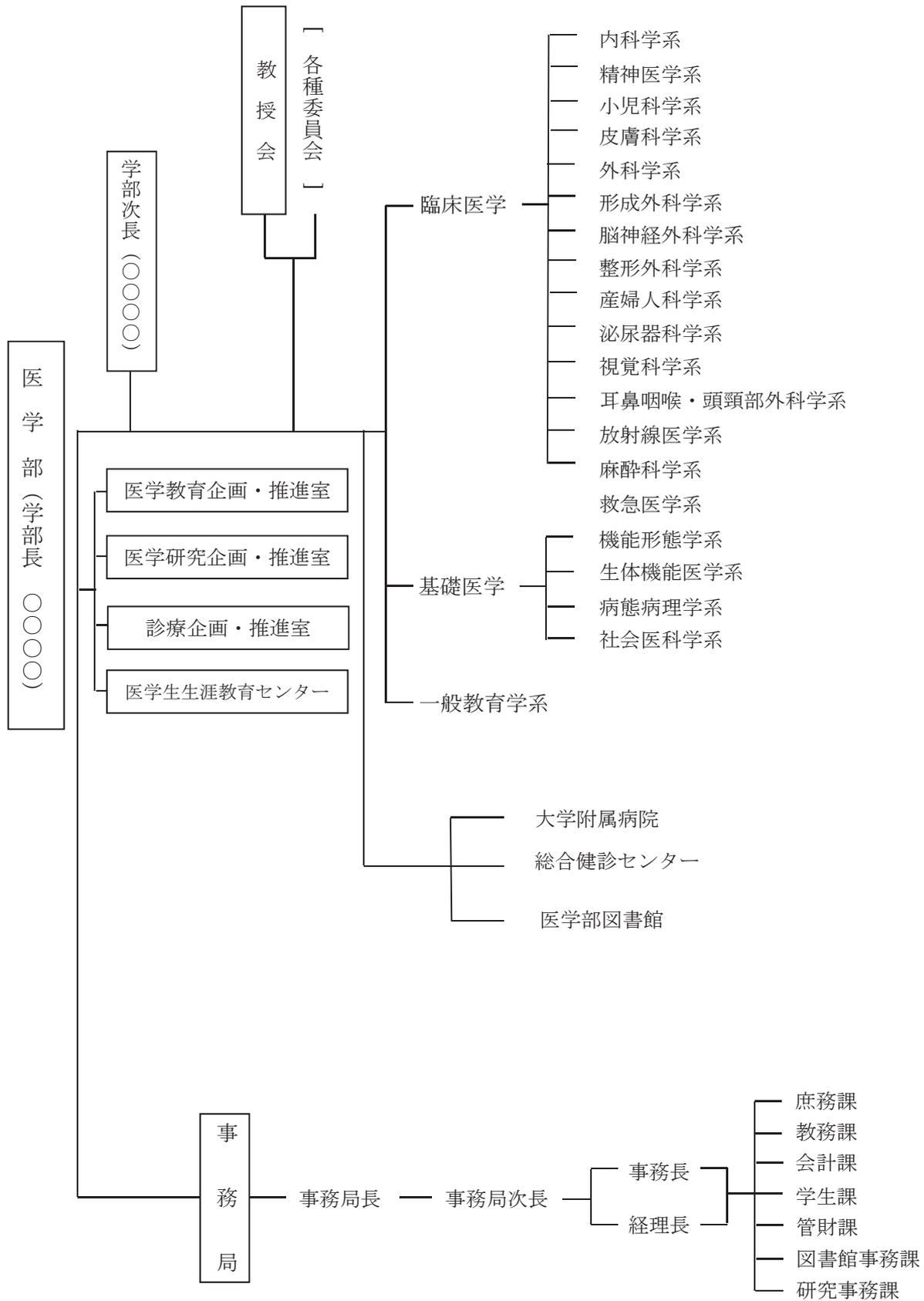
款	項	目	細目	細々目	部門予算 責任者	H25当初予算案 A	H24当初予算額 B	対前年比 A-B	備考			
01	業務費	07寄附金事業	01奨学金寄付金研究経費(直接経費)	02「宮城大学学習奨励基金」奨励事業費	教育研究担当理事	14,250	14,250	0	中期計画と同額			
					副学長(教育担当)	6,200	5,200	1,000	(新規)グローバル・インターンシップ支援プログラム			
		寄附金事業費計						20,450	19,450	1,000		
		08役員人件費	01理事長・副理事長・理事人件費	02監事人件費		人事労務担当理事	67,015	66,795	220	(増)社会保険料の増 他		
							1,116	1,116	0			
		役員人件費計						68,131	67,911	220		
		09教員人件費	01教員人件費	02非常勤教員人件費	03特任教員人件費	人事労務担当理事	1,555,969	1,563,346	△ 7,377	(減)特任教員人件費へ振替		
							42,588	42,588	0	中期計画と同額		
							10,237	0	10,237	(新規)教員人件費から振替		
		教員人件費計						1,608,794	1,605,934	2,860		
10事務職員人件費	01事務職員人件費	02非常勤事務職員人件費		人事労務担当理事	399,630	375,567	24,063	(増)派遣職員の増、社会保険料の増 他				
					92,518	85,242	7,276	(増)臨時職員等の増、社会保険料の増 他				
事務職員人件費計						492,148	460,809	31,339				
人件費計						2,169,073	2,134,654	34,419				
業務費計						3,135,156	3,043,411	91,745				
01	経常費用	01法人費用			事務部長	01理事会費(理事長室・国際交流・渉外等)	3,530	2,365	1,165	(増)役員活動費等の増による		
						02経営審議会費	292	295	△ 3			
						03教育研究審議会費	88	89	△ 1			
						04弁護士、社労士、会計士、税理士費用	6,150	7,450	△ 1,300	(減)弁護士費用の減		
						05会計監査人費用	5,565	6,300	△ 735	(減)契約額の減		
		法人費用計						15,625	16,499	△ 874		
		02	一般管理費	02事務経費			事務部長	01庁舎管理経費	189,622	185,940	3,682	(増)庁舎管理委託費の増(太白キャンパス校舎等維持管理業務、太白キャンパス校舎等清掃業務 他)
								02光熱水費	138,843	133,843	5,000	(増)電気使用料等の増
								03公用車等経費	4,336	4,573	△ 237	
								04事務部経費	36,592	37,225	△ 633	
								05キャンパスレンジャー経費	663	818	△ 155	
								06財務会計システム運営費	4,832	5,000	△ 168	
								08給与計算アウトソーシング	2,100	2,130	△ 30	
								09銀行振込手数料	1,005	860	145	(増)振込件数の増加
								10職員健康診断費	3,059	3,223	△ 164	
								12職員採用経費	4,544	4,203	341	(増)採用予定人員の増に伴う経費の増 他
								13産業医	863	863	0	
								14公租公課	8,216	5,524	2,692	(増)納付消費税
								15事務部職員研修経費	1,645	1,328	317	(新規)自己啓発支援
								16エコキャンパス推進費	1,000	1,000	0	
事務経費計									397,320	386,530	10,790	
03	維持修繕費	01建物設備維持管理経費	02施設・環境整備費		事務部長	20,000	20,000	0				
						19,300	20,723	△ 1,423	大和キャンパス改修等工事			
維持修繕費計						39,300	40,723	△ 1,423				
04企画・広報費					事務部長	11,600	3,938	7,662	(新規)HPリニューアル			
05教員宿舍費						2,500	2,000	500	(増)修繕費の増			
一般管理費計						466,345	449,690	16,655				
03	財務費用	01支払利息	02その他財務費用		財務担当理事	0	0	0				
						6,000	6,000	0	その他大学運営に係る経費			
経常費用計(退職金を除く)						3,607,501	3,499,101	108,400				
02退職手当費用					人事労務担当理事	292,905	16,396	276,509	(増)11名予定(H24は3名予定で計上)			
経常費用計(退職金を含む)						3,900,406	3,515,497	384,909				

表2 平成25年度当初予算案(支出)

款	項	目	細目	細々目	部門予算 責任者	H25当初予算案 A	H24当初予算額 B	対前年比 A-B	備考
03					財務担当理事	82,149	157,917	△ 75,768	坪沼農場管理棟改修工事
04					財務担当理事	0	0	0	
05						0	0	0	
06					副学長(教育担当)	0	0	0	
07	災害復旧・復興支援費	01	災害復旧・復興支援費	01	災害復旧費	0	0	0	
				02	復興支援費	1,000	1,500	△ 500	学生ボランティア等復興支援に係る経費
				03	災害対策費	0	500	△ 500	
				04	緊急雇用対策費	22,844	35,931	△ 13,087	県からの緊急雇用対策の受託事業
災害復旧・復興支援費計						23,844	37,931	△ 14,087	
合計						4,006,399	3,711,345	295,054	

収入合計(再掲) 4,006,399  
 収支差 0

医学部の組織体制



学習アウトカムとコンピテンシー

図1 1年次から6年次までに実施される科目(ユニット)

年次	キャンパス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1年次	大和	導入PBLチュートリアル、IPE I				医学英語 I									
		普通教育科目、専門基礎科目				普通教育科目、専門基礎科目									
スカラシップ・ベーシック															
2年次	大和 栗原	生命倫理、IPE II				医学英語 II									
		普通教育科目、専門基礎科目				生化学、形態学総論、肉眼解剖学、発生学、神経科学実習				普通教育科目、専門基礎科目					
スカラシップ・ベーシック															
3年次	栗原	組織学、神経科学、生理学、免疫学				基礎医学ゼミ				IPE III、医師見習い学習					
		薬理学				薬理学、病理学総論、ウイルス学、細菌学、寄生虫学				医学英語 III					
スカラシップ・アプライド															
4年次	栗原	ユニット授業、病理学各論、臨床入門、臨床チュートリアル				ユニット授業、病理学各論、臨床入門、臨床チュートリアル				※		コアベーシック		コアCC	
		ユニット授業、病理学各論、臨床入門、臨床チュートリアル				衛生学、医療経済情報学、公衆衛生学、法医学				医学英語アドバンスト(選択)					
スカラシップ・アドバンスト(選択)															
5年次	栗原	コアCC				コアCC				アドバンストCC					
		コアCC				医学英語アドバンスト(選択)				アドバンストCC					
スカラシップ・アドバンスト(選択)															
6年次	栗原	アドバンストCC				アドバンストCC				卒業試験					
		アドバンストCC				卒業試験				卒業試験					
スカラシップ・アドバンスト(選択)															

※共用試験CBT、OSCE

医療プロフェッショナリズム
  病態と診療 I
  臨床医学実習
  医学英語

正常構造と機能
  病態と診療 II
  医療と社会
  生命科学特論・研究

図2 達成されるコンピテンスの領域ごとのコンピテンシーの科目達成レベル

レベル(達成度)	Advanced	Applied	Basic			
I. 倫理観と専門家意識	A	B	C	D	E	F
患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理感を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたり向上を図ることができる。	診療の場で医師としての態度・価値感を示せることが単位認定の要件である。	医師としての態度・価値感を模擬的に示せることが単位認定の要件である。	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である。	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である。	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない。	経験する機会がない。
II. コミュニケーション	A	B	C	D	E	F
他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療の場で適切なコミュニケーションを実践することができる。	診療の一部として実践することが単位認定の要件である。	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である。	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である。	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である。	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない。	経験する機会がない。
III. 医学関連領域の知識	A	B	C	D	E	F
医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し応用できる。	実践の場で問題解決に応用できることが単位認定の要件である。	問題解決に応用できる知識を示せることが単位認定の要件である。	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である。	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である。	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない。	経験する機会がない。
IV. 診療の実践	A	B	C	D	E	F
患者に対して思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。	診療の一部として実践できることが単位認定の要件である。	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である。	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である。	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である。	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない。	経験する機会がない。
V. 疾病予防と健康増進	A	B	C	D	E	F
保健・医療・福祉の資源を把握・活用し、必要に応じてその改善に努めることができる。	実践できることが単位認定の要件である。	検証と改善計画立案のできるものが単位認定の要件である。	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である。	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である。	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない。	経験する機会がない。
VI. 科学的探究	A	B	C	D	E	F
基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を評価し、新しい情報を生み出すために論理的・批判的な思考ができる。	実践できることが単位認定の要件である。	研究計画の立案、研究の見学、参加が単位認定の要件である。	基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である。	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である。	経験する機会はあるが、単位認定に関係ない。	経験する機会がない。

## 【 資料 】

	金成庁舎・周辺施設	富野小学校・幼稚園
位 置	栗原市金成沢辺町沖200	栗原市築館字城生野北田沖274
土 地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金成庁舎・生涯学習センター 12,589.22 m<sup>2</sup></li> <li>・金成体育センター 967.00 m<sup>2</sup></li> <li>・グラウンド 6,764.00 m<sup>2</sup></li> <li>・公園 3,235.00 m<sup>2</sup></li> <li style="text-align: right;"><b>合計 23,555.22 m<sup>2</sup></b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 17,740.00 m<sup>2</sup></li> <li>・幼稚園 1,893.00 m<sup>2</sup></li> <li style="text-align: right;"><b>合計 19,633.00 m<sup>2</sup></b></li> </ul>
建物面積 (建築年度・構造)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金成庁舎・生涯学習センター 5,049.00 m<sup>2</sup> うち2階部分 約 1,500 m<sup>2</sup> 3階部分 約 1,000 m<sup>2</sup> (平成11年度、鉄筋コンクリート造)</li> <li>・やすらぎセンター 1,989.70 m<sup>2</sup> うち2階部分 約 280 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>【部屋別床面積】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○金成庁舎 2階 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほたるホール 約182 m<sup>2</sup> (一般席124席、車いす席2席)</li> <li>・視聴覚室 約81 m<sup>2</sup></li> <li>・上下水道部 約237 m<sup>2</sup></li> <li>・教育部 約486 m<sup>2</sup></li> <li>・書庫等 約126 m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>○金成庁舎 3階 <ul style="list-style-type: none"> <li>・監査委員 約90 m<sup>2</sup></li> <li>・農業委員会 約112 m<sup>2</sup></li> <li>・農委 大会議室 約181 m<sup>2</sup></li> <li>・農委 会議室 約56 m<sup>2</sup></li> <li>・書庫等 約108 m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>○やすらぎセンター 2階 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修室1 約60 m<sup>2</sup></li> <li>・研修室2 約60 m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>○金成体育センター <ul style="list-style-type: none"> <li>・アリーナ 約767 m<sup>2</sup></li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎 1,898.00 m<sup>2</sup> (平成4年度、鉄筋コンクリート造)</li> <li>・体育館 729.00 m<sup>2</sup> (平成4年度、鉄骨造)</li> <li>・園舎 216.00 m<sup>2</sup></li> </ul>
栗原中央病院 からの距離	8.3 km	3.5 km
栗原中央病院か らの所要時間	15分	8分

## 平成26年度 会計別財政規模とその財源

## 1 当初予算と前年度比較

(単位:千円,%)

会 計 区 分	平成25年度当初予算 A	平成26年度当初予算 B	増 減 (B-A)	比 較 (B/A)	
普通会計	一般会計 イ	1,521,306,062	1,458,041,961	△ 63,264,101	95.8
	うち 震災対応分	741,508,969	646,853,165	△ 94,655,804	87.2
	うち 通常分	779,797,093	811,188,796	31,391,703	104.0
	特別会計 口	262,140,561	331,864,919	69,724,358	126.6
	うち 震災対応分	55,605	1,663,538	1,607,933	2,991.7
	うち 通常分	262,084,956	330,201,381	68,116,425	126.0
	合計(イ+口) ハ	1,783,446,623	1,789,906,880	6,460,257	100.4
	うち 震災対応分	741,564,574	648,516,703	△ 93,047,871	87.5
	うち 通常分	1,041,882,049	1,141,390,177	99,508,128	109.6
	純 計 二	1,678,773,821	1,674,845,004	△ 3,928,817	99.8
	うち 震災対応分	741,564,574	648,466,746	△ 93,097,828	87.4
	うち 通常分	937,209,247	1,026,378,258	89,169,011	109.5
準公営企業会計 ホ	22,386,286	21,939,861	△ 446,425	98.0	
うち 震災対応分	1,509,452	1,081,610	△ 427,842	71.7	
うち 通常分	20,876,834	20,858,251	△ 18,583	99.9	
公営企業会計 ヘ	27,813,739	27,734,769	△ 78,970	99.7	
うち 震災対応分	451,694	426,734	△ 24,960	94.5	
うち 通常分	27,362,045	27,308,035	△ 54,010	99.8	
総 計 (ハ+ホ+ヘ) ト	1,833,646,648	1,839,581,510	5,934,862	100.3	
うち 震災対応分	743,525,720	650,025,047	△ 93,500,673	87.4	
うち 通常分	1,090,120,928	1,189,556,463	99,435,535	109.1	
純 計 (二+ホ+ヘ) チ	1,728,973,846	1,724,519,634	△ 4,454,212	99.7	
うち 震災対応分	743,525,720	649,975,090	△ 93,550,630	87.4	
うち 通常分	985,448,126	1,074,544,544	89,096,418	109.0	

## 2 当初予算の財源内訳 (総会計)

(単位:千円)

区 分	平成26年度当初予算	備 考	
国庫支出金	359,246,363	〔一般財源内訳〕 県 税 257,900,000 地方消費税清算金 58,779,000 地方譲与税 40,654,000 地方特例交付金 643,000 地方交付税 266,800,000 交通安全対策特別交付金 546,000 分担金及び負担金 9,297 使用料及び手数料 3,499,935 国庫支出金 320,617 財産収入 551,280 寄附金 10,000 繰入金 14,555,242 繰越金 1 諸収入 4,688,735 県債 59,800,000 計 708,757,107	
財産収入	2,210,743		
使用料及び手数料	26,714,751		
分担金及び負担金	13,046,666		
寄附金	147		
諸収入	194,454,805		
県債	230,023,100		
繰越金	920,287		
繰入金	299,090,419		
内部留保資金等 (企業会計)	5,117,122		
一般財源	708,757,107		
計	1,839,581,510		
純 計	1,724,519,634		計 708,757,107